

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療整備課
担当名：地域医療対策担当
内線：3643

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
B19	ドクターヘリ運営事業費				一般会計	衛生費	医薬費	医務費	ドクターヘリ運航事業費	
事業期間	平成17年度～	根拠法令	救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法、医療提供体制推進事業費補助金交付要綱				宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保	SDGsゴール	
	分野施策						020307 地域医療体制の充実	SDGsターゲット		
1 事業概要 重篤患者の救命率向上と後遺症の軽減を図るため、救急医療ヘリコプター(ドクターヘリ)による救急医療体制を整備するとともに、他県との広域連携ができる体制を構築する。 また、ドクターヘリの運航時間外等に対応するため、防災ヘリを活用したドクターヘリ的運航を実施する。 (1) ドクターヘリ運航事業 △122,252千円 所要額が当初の見込みを下回ったことによる減額					5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターに救急医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)を常駐させ、消防機関からの要請に応じて医師や看護師を空路で救急現場に派遣し、迅速な初期治療を開始するための運営体制を整備する。 また、消防機関からの重複要請や、多数傷病者事案に他県のドクターヘリと連携する。 (7) ドクターヘリ運航病院(基地病院) 埼玉医科大学総合医療センター(1病院) (4) ドクターヘリ広域連携 連携先：群馬県 (2) 事業計画 ア 事業の目標 ドクターヘリの運航に係る経費、医療スタッフを確保する経費を補助する。これにより、常時ドクターヘリが出動可能な体制を整備し、迅速な初期治療を可能にすることで、重篤患者の救命率向上と後遺症の軽減を図る。 イ 今後の事業展開 ドクターヘリ広域連携がより円滑に行えるよう、関係機関と調整を行う。 (3) 事業効果 救急現場に医療スタッフを迅速に投入することにより、重篤患者の救命及び後遺症の軽減が可能となる。 平成30年度出動件数：632件 令和元年度出動件数：471件 令和2年度出動件数：435件 (4) 前年度からの主な変更点 運航経費の基準額見直しによる補助金額の増額。 (5) 補正予算の概要 所要額が当初の見込みを下回ったことによる減額					
2 事業主体及び負担区分 (1) (国1/2・県1/2)事業者0 (2) (県10/10) (3) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)衛生費(細目)医療行政費(細目)特別医療対策費(救急医療施設等運営費等補助)特別交付税 二十七 救急医療用ヘリコプターの運航等に要する経費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										

予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△12,252	△6,126						△6,126	277,955
現計額	290,207	145,000						145,207	